

板橋区景観計画

景観形成重点地区次期候補地区及び
景観重要公共施設の追加指定

(変更案)

(変更箇所のみ掲載)

板橋区

令和〇年〇月

2章

景観計画のねらい

4) 景観形成重点地区候補地区

今後、景観形成重点地区として取り組んでいく候補として、景観形成重点地区の指定基準から現時点では以下の4地区が挙げられており、順次地域のまちづくりの機運などを踏まえて、追加指定に向けた取り組みを行っています。

なお、下記に示す候補地区以外の箇所においても、住民等による提案や周辺開発等の状況に合わせ、必要に応じ景観形成重点地区に指定し、本計画の5章に追加して記載していくものとします。

表 2-3 景観形成重点地区(候補地区)

景観形成重点地区 候補地区	道路、河川、公園 などの板橋区の軸 となる都市施設を 含んでいる地域	今後、板橋区 の顔となりう る地域	地域のまち づくり機運 の高い地域	備考	その他
加賀一・二丁目 地区	○(石神井川)		○	加賀まちづくり 協議会の活動	平成26年1月 景観形成重点 地区指定
常盤台一・二丁目 地区		○(常盤台)	○	ときわ台しゃれ 街協議会の活動	平成26年8月 景観形成重点 地区指定
板橋宿不動通り 地区	○(旧中山道)	○(板橋宿)		板橋宿不動通り 道路改善事業	令和4年4月 景観形成重点 地区指定
赤塚四・五丁目 地区	○(赤塚公園)	○(崖線)		赤塚地区のまち づくり	

表 2-4 景観形成重点地区(次期候補地区)

景観形成重点地区 候補地区	道路、河川、公園 などの板橋区の軸 となる都市施設を 含んでいる地域	今後、板橋区 の顔となりう る地域	地域のまち づくり機運 の高い地域	備考	その他
(仮称) 高島平周辺地区	○(赤塚公園、け やき通り、プロム ナード)	○(高島平)	○	高島平地域グランドデ ザイン、高島平地域 都市再生実施計画、 高島平地域交流核形 成まちづくりプラン	
(仮称) 旧中山道地区	○(旧中山道)	○(板橋宿)	○		
(仮称) 城北中央公園周辺 地区と石神井川軸 地区	○(城北中央公園、 石神井川)				
(仮称) 板橋崖線軸東地区		○(崖線)			

※追加指定に向けた取り組みは、検討開始時点の地域の状況に応じて進めるものとする。

7章

景観資源の 保全と活用

7 | 景観資源の保全と活用

7.1 景観資源の保全と活用に関する考え方

個性豊かで魅力溢れる良好な景観の形成のためには、建築行為等の誘導とともに、地域の歴史や文化を象徴し、地域を印象づける資源等を積極的に保全し、これらを核とした景観形成に取り組んでいく必要があります。

そこで、まちの魅力を高める核となる河川、公園、道路などの公共施設や、地域の個性を特徴づける建造物や樹木などを、景観重要公共施設・景観重要建造物・景観重要樹木に指定し、その保全と活用に取り組みます。

【景観計画に位置づける景観資源】

○まちの魅力を高める核となる公共施設

：景観重要公共施設（道路、河川、公園など）

○景観形成上、重要な建造物

：景観重要建造物

○景観形成上、重要な樹木

：景観重要樹木

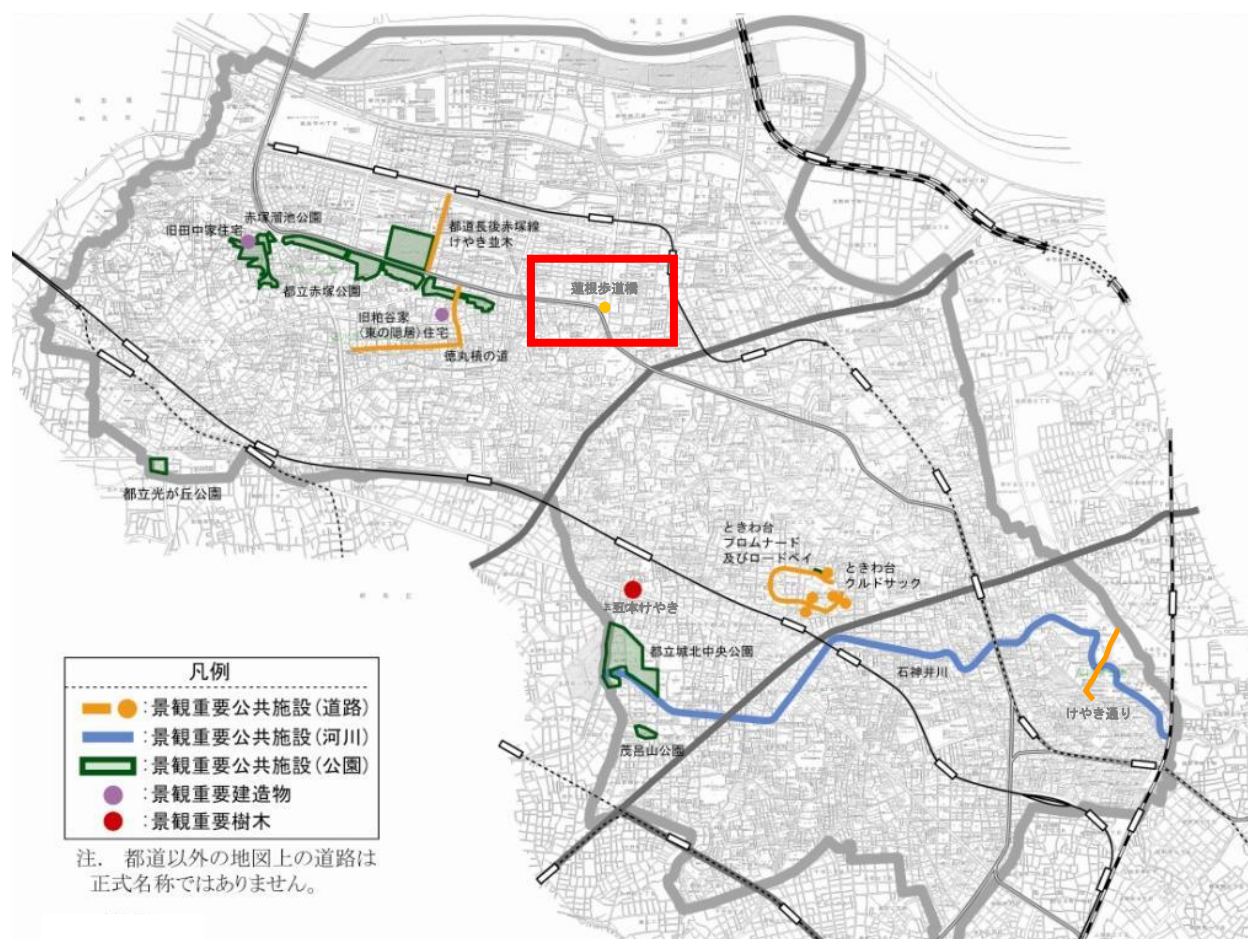


図 7-1 景観重要公共施設、景観重要建造物および景観重要樹木

5) 特別区道第 2095 号（板橋区）（けやき通り）

①対象区域

特別区道第 2095 号

②整備に関する事項

当該道路は、景観形成重点地区である加賀一・二丁目地区を縦断する中心的道路であり、沿道は歩道状空地として、地区計画の地区施設にも位置付けられています。また、当該道路は景観重要公共施設である石神井川を渡り、沿道には、身近な公共施設や福祉施設、共同住宅などが立ち並んでおり、地域に親しまれています。

沿道の敷地では、建築物の建替えにより、当該道路と一体となった、広々とした緑豊かな歩道などのオープンスペースが整備されつつあり、潤いのある心地よい景観を形成しています。

今後は、この緑豊かなオープンスペースとの連続性に配慮し、安全でゆとりと潤いのある道路を整備するとともに、品格のある加賀にふさわしい街路景観を維持・保全していきます。

また、工作物等を築造する場合は、標識やサイン等の認知を妨げない配置とするとともに、沿道の公園緑地や河川、公共施設、建築物との調和に配慮した形態・意匠・色彩とします。



けやき通り

6) 蓮根歩道橋（東京都）

①対象区域

高島平一丁目 1 番地先

②整備に関する事項

当該歩道橋は、東京都市計画街路補助 201 号線と 204 号線の交差点上に架かる歩道橋で、3 方面へ往来できるようにトライアングル上の平面構成であり、中央部が円形に開いている特徴的なデザインとなっています。また、照明灯、高欄などの付属物のデザインも工夫がなされており、昭和 52 年（1977）の建造から、地域のシンボリック存在として、区民に広く親しまれています。

歩道橋の整備・維持管理にあたっては、交通島の緑などの周辺環境との調和に配慮し、特徴的なデザインを活かした街路景観の整備・維持管理に努めます。

※昭和 52 年度田中賞（公益社団法人土木学会）受賞



蓮根歩道橋